

関西国際空港及び関連事業に係る環境監視結果（平成 26 年度報告書）の概要

関西国際空港環境監視機構が、新関西国際空港株式会社の行った平成 26 年度の環境監視に関するデータなどの情報を収集・整理した結果、同社が定めた環境保全目標を概ね満足していると考えられる。

項目	測定地点	測定時期	監視結果の概要	評価
大気質	泉佐野市羽倉崎 (大阪府所管佐野中学校)	常時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の濃度レベルは、周辺の大阪府所管一般測定局と同程度であり、経月変化・経年変化も同様の傾向であった。 ○ 二酸化窒素は、環境基準に適合していた。 ○ 浮遊粒子状物質は、長期的評価、短期的評価ともに環境基準に適合していた。 	事業による影響は小さく、環境保全目標を満足していると考えられる。
水質	空港島内内部水面海域（3 地点）	平成 26 年 2 月 平成 27 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ pH、DO、COD、T-N、T-Pのいずれの項目についても、事業者による調査結果と、周辺海域で大阪府が実施した大阪湾常時監視の結果との間に大きな差は認められず、経年変化も概ね横ばい傾向であった。 	事業による影響は小さいものと考えられる。
底質	空港島内内部水面海域（3 地点）	平成 26 年 8 月 平成 27 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ COD、T-N、T-P、硫化物のいずれについても、事業者による調査結果と、周辺海域で大阪府が実施した測定結果との間に、大きな差は認められなかった。 	事業による影響は小さく、環境保全目標を満足しているものと考えられる。
騒音	4 地点（泉大津市汐見町、泉佐野市りんくう往来南、岬町多奈川小島、貝塚市二色 3 丁目）	常時	<ul style="list-style-type: none"> ○ Ldenの各測定地点の年間パワー平均値は 37dB 未満～49dB の範囲にあり、全局で航空機騒音に係る環境基準に適合していた。 	航空機騒音は、全ての測定局及び測定地点で環境基準に適合しており、環境保全目標を満足していると考えられる。 飛行高度はすべての調査機で 8,000 フィート以上を確保していた。
	9 地点（堺市南区庭代台、高石市高砂 2 丁目、忠岡町新浜 3 丁目、岸和田市臨海町、田尻町りんくうポート南、泉南市りんくう南浜、阪南市箱作、和泉市和田町、熊取町希望が丘）	平成 26 年 6 月 平成 26 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ Ldenの各測定地点のパワー平均値は 37dB 未満～42dB の範囲にあり、いずれの地点においても航空機騒音に係る環境基準に適合していた。 	
飛行経路・高度	貝塚断面	平成 26 年 6 月 平成 26 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 離陸及び着陸ともに全てAIP（航空路誌）に規定されている最低高度である 8,000 フィート以上を確保していた。なお、南北方向の通過地点において、大きなばらつきは見られなかった。 	
海域生物	空港島内内部水面海域（3 地点）	平成 26 年 8 月 平成 27 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内湾・沿岸域で普通に見られる種が確認され、出現種類数についても経年的に大きな変化が見られなかった。 	事業による海域生物への影響は小さく、環境保全目標を満足していると考えられる。